

進路だより～Aspiration 2019.2.13

2月も半ばとなり、3学期もあと1ヶ月を残すだけとなりました。3年生は今、国公立大学の前期・中期・後期試験や私立大学の一般後期試験に向けて3月の最後まで合格に向けて頑張っています。1、2年生の皆さんは1月、2月の学習状況を見直し、今後の目標を決定し、「受験生」としての好スタートを切りましょう。

★「受験生」になるための4ステップ★

① 進路を決定しよう！

受験勉強をやみくもに始めても、途中でパワーダウンしてしまう可能性があります。まずは、「絶対〇〇大学に行きたい!」「〇〇に必ずなる。」などという強い動機（モチベーション）を持つことです。本当に行きたい大学や学部や、なりたい職業があれば、受験勉強への取り組み方も変わってきます。ただし、結果的に目標としている〇〇大学が△△大学になることは当然あるでしょう。しかし、進路が不確定なことに不安を持たずに、とりあえず今、決めた目標達成に精一杯頑張ることが必要です。

② 入試までの流れを意識しよう！

進路が決定したら、入試までの流れ（「大学の入試の動き」参照）をイメージし、いつまでに何をすべきか、どのような勉強をするかをノートに書き出してみましょう。今の学力を志望校の入試レベルに到達させるには、やるべきことがたくさんあります。限られた時間の中で夢を実現させるためにも、自分で小さな目標を立て、それを一つずつ達成していく努力が必要となってきます。

③ 基礎力を強化しよう！

受験勉強を始めるにあたって、基礎力の養成は不可欠です。大学入試センター試験の問題の約8割が、高校2年生までの学習内容です。高校2年生のうちに総復習をしておき、知識の定着度を確認しよう。復習には、今までの定期テストや実力テスト（進研模試も含む）のファイリングがオススメ。テストを見直し再度解答をし、教科書に返って確認するという流れを繰り返せば、基礎力が身に付きます。3年次の夏休みまではあれこれ手を出すのではなく、英語・国語・数学を中心に、基礎固めの勉強をしていきましょう。

④ 計画表を作成し、受験勉強をスタートしよう！

やるべきことが整理されたら、計画表を作成し、受験勉強をスタートしましょう。まず、今から夏休みまでの具体的な勉強内容を教科ごとに決め、さらに1週間単位でそれを振り分けて、実行していきましょう。また計画表を作成する際には、週末に予備日を設けるなど、計画倒れにならないよう無理のない計画を立てることが大切です。



国公立大学 2次対策

前期・中期試験は記述式問題が多く出題されます。それぞれの大学で受験可能な科目の中で、得意な教科を選択します。過去問で問題傾向を把握し、時間配分を考えて演習をしておきましょう。公式などの基本的な部分の確認に重点を置いて確実に得点が取れるようにしておきたいものです。

後期試験は小論文がかなり多くの大学で出題されます。「序論・本論・結論」の3段構成を心掛け、論点を明確にし、構想をメモしながら「主題」を絞り込んで書きましょう。①課題（テーマ）型②文章読解型③資料把握型の形式があり、①では設問から出題の意図を読み取り、設問の指示や条件を必ず守って書きましょう。また、②③では要約や資料の内容を把握した上で、自分自身の意見や考えを述べるものです。学部や学科に必要な基礎知識やキーワードを事前に覚えておくことをお勧めします。

1・2年生は、時間に余裕がある今から、少しずつ小論文の書き方に慣れておきましょう。年間2回の小論文模試の活用や、「朝の読書」時間を利用して受験に関する本を読むのも1つの方法です。

大学入試の動き

春休み	オープンキャンパス
5月	大学案内最新版発行開始
6月	国公立大学選抜要項発表
7月	私立大学募集要項発表
夏休み	オープンキャンパス
8月	AO入試エントリー開始
9月	AO入試開始
	国公立大学募集要項発表開始
10月	大学入試センター試験出願
11月	推薦入試開始
12月	私立大学一般入試出願
1月中旬	大学入試センター試験
1月	私立大学一般入試開始
	国公立大学個別試験出願
2月	国公立大学個別試験（前期）
3月	国公立大学個別試験（中期）
	国公立大学個別試験（後期）